

戦後80年 英語で語り継ぐ ヒロシマ・ナガサキ

2025年は、第2次世界大戦の終結から80年の節目の年にあたる。1945年8月6日、広島に人類史上初めて原子爆弾が投下。8月9日、長崎にも原子爆弾が投下され、多くの市民の命が一瞬にして奪われた。戦後80年の今年、世界を見渡すとロシアとウクライナ、イスラエルとパレスチナ、そしてイスラエルとイランなど、いまだに争いが絶えない。今回の特集では改めてヒロシマ・ナガサキを見つめ、戦争と平和を考えてみたい。広島に原爆を投下した爆撃機「エノラ・ゲイ」の搭乗員と、13歳で被爆し、核兵器をなくすための運動を続けているサーロー節子氏のインタビューもお届けする。

編集：竹内佑介





CNN が伝えた「ヒロシマ原爆の日」

1945年8月6日、午前8時15分、広島市内に原子爆弾が投下された。1発の原子爆弾により広島市は一瞬のうちに灰塵に帰した。8月6日は広島平和記念日であり、世界平和を祈る日。毎年この日になると、広島市で原爆死没者の慰霊式典が行われる。ここではCNNによる戦後70年時の「ヒロシマ原爆の日」についてのレポートをお届けする。

3

A bell tolls, marking the exact moment 70 years ago when a radioactive inferno exploded over Hiroshima—a somber anniversary for the first and only country to ever be hit by an atomic bomb. On a day that led to the deaths of some 200,000 people, the Japanese make an appeal for peace.

Three days after bombing Hiroshima, the US dropped a second atomic bomb on the city of Nagasaki, a devastating attack that forced Japan's unconditional surrender.

Many here today hope the horrific memories of 1945 will make people think twice before

70年前、放射能の灼熱地獄が広島上空に突如現れたまさにその瞬間を告げる鐘が鳴り響きます。史上初めて、そして唯一原爆投下を受けた国にとって、厳粛な記念日です。約20万人の命を奪うことになったこの日に、日本人は平和を訴えます。

広島への原爆投下から3日後、アメリカは長崎に2発目の原爆を投下しました。この壊滅的な被害をもたらした攻撃により、日本は無条件降伏に追い込まれました。

今日ここに集まった多くの人々は、1945年の恐ろしい記憶が、人々が戦争への道を歩むことのないよう熟慮することを促すこと

toll:
〈鐘などが〉繰り返しゆったりと鳴る
mark:
〈出来事などが〉〈重要な時期〉を示す、知らせる

radioactive:
放射能の、放射性の
inferno:
猛火、烈火
explode:
爆発する、さく裂する

somber:
厳粛な、肅々とした
atomic bomb:
原子爆弾 ▶A-bombとも。
devastating:
破壊的な、壊滅的な

force:
～を強いる
unconditional surrender:
無条件降伏
think twice before doing:
～する前によく考える、再考する